

全学内部質保証委員会検証における意見への対応

部局等：教育学部及び教育学部附属学園

評価結果における意見等 (※問題点や改善を要する事項、改善が望まれる事項等)	対応状況
<p>外部評価委員から「情報発信」「外部への発信」が弱いとの指摘があるので、コロナ禍の長期化を考慮し、既存の発信方法ではなく新たな発信方法の検討が必要ではないか。</p>	<p>令和5年度中に学部入試・広報委員会を中心として学部HPリニューアルを行う。学部カリキュラムや教育内容の特徴の発信に加え、特徴的な学修活動やプロジェクトの報告、教員の研究内容の紹介などの新たなコンテンツの掲載を検討する。</p>
<p>外部評価者からの意見もあるように、教員就職率向上のための更なる工夫が望まれる。その一環として、入学後の教職への意欲のフォローアップはもちろん必須な取組みであるが、教職への意欲の高い入学生の確保に繋がる「高校生の教職への興味の掘り起こし」に更に努めていただきたい。</p>	<p>福井県教育委員会と連合教職開発研究科との協定をこの3月に教育委員会と大学間との協定とし、学部の授業に関しても現職教員の協力・派遣が得られやすい体制が整った。今後、この枠組みを有効に活用し、より実践的な教育内容を整備するとともに、学生の教職への意欲の向上・フォローアップにつなげる。 嶺南地域卒入試説明会を引き続き開催し、教職に関心のある高校生の確保に努めるとともに、高大連携の取組の充実について検討を進める。</p>